琉球大学学術リポジトリ

豚の多頭飼育について

メタデータ	言語:
	出版者: 琉球大学農家政学部
	公開日: 2011-06-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 渡嘉敷, 綏宝, Tokashiki, Suiho
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/20711

豚の多頭飼育について

1、はじめに

昨今のキビブームによって甘藷の作付が減少し、飼料不足は16万頭まで増加していた豚を10万頭に激減させてしまいました。一方肉の需要は食生活の向上と共に年々増加の傾向をたどることは明かで、このアンバランスをいかに解決するかは今後の畜産業の大きな課題であります。

農業は他産業に比べて所得が低く、限られた耕地面積だけではよほど合理的な経営をしない限り、飛躍的な所得の増加は望めません。それで最近は農業の企業化がとなえられ始めました。例を沖縄の養鶏にとってみると配合飼料でもってなんとか採算がとれることが明かにされつつあります。現在沖縄における鶏卵の生産高は年間1億個といわれます。これは驚異的な数字であり、遂に日本からの輸入卵を完全に圧倒致しました。

日本では豚の多頭飼育が企業化されつつあります。さて沖縄でこの多頭飼育が成立つものかどうかは今のところよくわかっていませんが、なんとかして豚の増殖を図る必要がありますので、この問題について検討を加えてみたいと思います。

2、日本における多頭飼育の実例

1）個人企業

個々の農家が企業として自立経営するためには日本では200頭（100頭飼育の2回転）を標準としています。肉豚1頭からの純益を 2,300円としていますので、1か年に 200頭売却すれば46万円、つまり 1,300弗の利益があるとされています。

2）株式組織

株式会社組織として最も大規模なものは千葉家畜研究所（資本金 500万円、従業員50人）の 5,000頭飼育があります。ここは肉豚ばかりで繁殖は行なわず、子豚は種豚場や養豚場を委託種豚場として指定し、そこから購入しています。肉豚の売却方法は消費者に直売する方式をとっています。即ち会社で解体処理工場をもち、豚肉を細切してポリエチレンの袋に入れて、1袋100g、200gの包装肉として食料品の小売店に配達して冷蔵し、15%のマージンを与えて販売しています。この会社では肉豚1頭から純益を 2,000円（約6弗）としています。

3）協業経営

協業経営としては東京都下の1養豚組合で12戸の農家が1戸当り8万円出資して約 200頭飼育し、1日交替で管理していますが、内 115頭売却しての損益計算によりますと25,000円の損失となっています。運営にあたっては借入金が多く、その利子支払や運営の方法にも欠陥があったため損失を招いたようです。豚舎は補助金によるもので、デンマーク式とし、豚房は 1.5×2間で8頭飼育となっています。

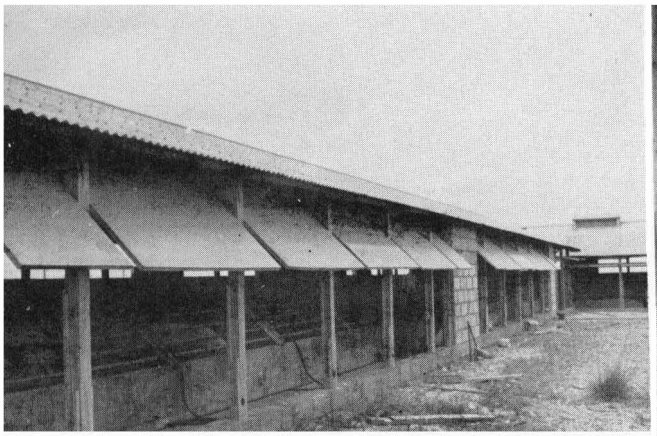
他の例では肉豚前期70頭、後期50頭、繁殖豚10頭を飼育して初年度の利益を概算 216,000円とみています。

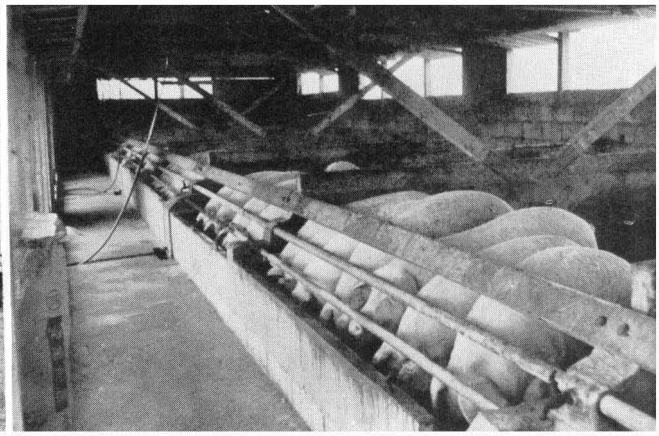
3、多頭飼育をするための必要事項

1）飼養規模

労働生産性を向上させるためには設備を整える必要があります。日本では農業近代化資金があって、そこから融資

（10ページの左につづく）





（写真は多頭飼育を始めて1年目を迎える糸満町・玉城盛三さんのモダンな養豚場。　現在テストケースとして120頭を有するが、これで自信がついたので拡張の計画あり。1963年10月17日・古　謝）

（2ページのつづき）
が受けられます。

普通豚舎の構造はデンマーク式で、運動場を設けた方がよいようです。運動場を設ける理由は一定面積に多数の豚が収容出来るからです。これによって肉豚なら1人で300～500頭を管理することが可能だといわれています。養豚収入によって公務員並の生活をするには飼養規模を常時100頭とし、1か年に200頭の肉豚を生産すればよいと思います。

2）資金関係

多頭飼育の場合設備や豚代に資金を投入しすぎて、運営資金が足りないため農協その他から借入して運営しますと、利益は利子支払に使われて損失を招くことになります。ですから借入金は政府融資の低利を利用し、それ相当の自己資金を持たねば運営していけないと思います。

3）設置場所

多数の豚を飼育して一番困るのは糞尿の処理だといわれています。ですから都市に設置することは不適当で、出来れば農耕地に施肥出来るところで、交通の便のよいところということになります。

4、沖縄における多頭飼育の将来性

沖縄でも既に一部地域では多頭飼育が行なわれていますが、今のように副業養豚の不振が続けば、近い将来これにとってかわる時代がくるものと思います。それで次の二点について考察してみましよう。

1）肉豚のみと繁殖豚併用とどちらを選ぶか

沖縄では子豚の価格は肉豚に比べて割高の感じがします。今迄の肉豚生産費調査の場合、子豚の購入費が肉豚生産原価の60％を占める場合もあって、これではいかに適切な飼料を与えても赤字になる筈です。子豚の価格は生産原価の30％程度でなければ利潤は得られないと思います。そのためには繁殖豚を持ちながら、その生産子豚を肉豚に仕上げる方法がよいと思います。

2）給与飼料

現在の飼料価格で、全面的に購入飼料に依存しての経営が成立つかどうかについては豚価の変動等もあるので、よくわかりません。ただ言えることは豚の飼料効率は普通3～4程度ですから、現在のように生豚1kg当り60₵（1斤36₵）もするなら購入飼料だけでも引合うものと思います。しかし実際に経営する場合には豚価の変動は常に心得ておかねばなりませんので、安全策としては自給飼料との併用法がよいです。また多頭飼育といっても、素人なら10～30頭から始めて自信を得てから目標頭数にもっていくべきです。

（渡　嘉　敷　綏　宝）